

注3

大学番号：014

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

認可

中央大学 法学部 法律学科／政治学科／国際企業関係法学科

経済学部 経済学科、商学部 経営学科／商業・貿易学科

理工学部 数学科／物理学科／都市環境学科／精密機械工学科

電気電子情報通信工学科／応用化学科／経営システム工学科

情報工学科／生命科学科／人間総合理工学科

文学部 人文社会学科、総合政策学部 国際政策文化学科

注1・2

【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中央大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 中央大学学事部企画課

職名・氏名 カチョウ カナイ ナオヤ
課長 金井 尚也

電話番号 042-674-2102

（夜間） 042-674-2102

F A X 042-674-2158

e-mail g-chousa@tamajs.chuo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。
- 2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
- 3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

中央大学

<法学部 法律学科／政治学科／国際企業関係法学科、経済学部 経済学科、商学部 経営学科／商業・貿易学科、理工学部 数学科／物理学科／都市環境学科／精密機械工学科／電気電子情報通信工学科／応用化学科／経営システム工学科／情報工学科／生命科学科／人間総合理工学科、文学部 人文社会学科、総合政策学部 国際政策文化学科>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 施設・設備の整備状況、経費	57
3. 既設大学等の状況	59
4. 教員組織の状況	64
5. 留意事項等に対する履行状況等	82
6. その他全般的事項	83

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人中央大学

(2) 大学名

中央大学

(3) 大学の位置

〒192-0393

東京都八王子市東中野742番1

〒112-8551

東京都文京区春日一丁目13番27号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカザワ タケヒサ) 深澤武久 (平成26年5月)		
学長	(サカイ ショウザブロウ) 酒井正三郎 (平成26年11月)		
法学部長	(ナカジマ ヤスヨ) 中島康予 (平成25年11月)		
経済学部長	(シノハラ マサヒロ) 篠原正博 (平成27年11月)		
商学部長	(キダチ マナオ) 木立真直 (平成27年11月)		
理工学部長	(イシイ ヤスシ) 石井靖 (平成25年11月)		
文学部長	(ツツキ マナブ) 都筑学 (平成25年11月)		
総合政策学部長	(マツノ リョウイチ) 松野良一 (平成25年11月)		

(注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
法学部 法律学科 学士 (法学)	4年	882人	— 年次人	3,528人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	840 (-) [-]	—	840 (-) [-]	—	840 (-) [-]	—	882 (-) [-]	—	1.05倍	
志願者数	9,727 (-) [7]	— (-) [-]	8,764 (-) [10]	— (-) [-]	11,544 (-) [12]	— (-) [-]	10,882 (-) [12]	— (-) [-]		
受験者数	7,813 (-) [7]	— (-) [-]	6,957 (-) [9]	— (-) [-]	10,645 (-) [9]	— (-) [-]	10,003 (-) [10]	— (-) [-]		
合格者数	2,912 (-) [1]	— (-) [-]	2,980 (-) [4]	— (-) [-]	3,529 (-) [3]	— (-) [-]	3,257 (-) [6]	— (-) [-]		
B 入学者数	896 (-) [0]	— (-) [-]	975 (-) [3]	— (-) [-]	925 (-) [1]	— (-) [-]	809 (-) [4]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.16		1.10		0.91			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 896	[-] (-) -	[3] (-) 975	[-] (-) -	[1] (-) 925	[-] (-) -	[4] (-) 809	[-] (-) -	
2年次	[1] (-) 873	[-] (-) -	[0] (-) 886	[-] (-) -	[2] (-) 963	[-] (-) -	[1] (-) 915	[-] (-) -	
3年次	[1] (21) 890	[-] (-) -	[1] (22) 868	[-] (-) -	[0] (19) 886	[-] (-) -	[2] (39) 957	[-] (-) -	
4年次	[2] (134) 980	[-] (-) -	[1] (121) 1,000	[-] (-) -	[2] (131) 983	[-] (-) -	[1] (125) 996	[-] (-) -	
計	[4] (155) 3,639		[5] (143) 3,729		[5] (150) 3,757		[8] (164) 3,677		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	896 人	16 人	平成26年度	13 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(6人)、 経済的理由(3人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、 その他(3人)	1.78 %
			平成27年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、 その他(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	975 人	18 人	平成27年度	11 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 経済的理由(1人)、就職(1人)、その他(6人)	1.84 %
			平成28年度	7 人	0 人	経済的理由(5人)、就学意欲の低下(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	925 人	12 人	平成28年度	12 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)、 経済的理由(2人)、海外留学(1人)、 家庭の事情(1人)、その他(4人)	1.29 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	809 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	3,605 人	46 人					1.27 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
法学部 政治学科 学士(法学)	4 年	389 人	— 年次 人	1,556 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	370 (-) [-]	—	370 (-) [-]	—	370 (-) [-]	—	389 (-) [-]	—	1.06倍	
志願者数	2,547 (-) [2]	— (-) [-]	2,272 (-) [0]	— (-) [-]	3,362 (-) [2]	— (-) [-]	3,488 (-) [9]	— (-) [-]		
受験者数	2,120 (-) [2]	— (-) [-]	1,889 (-) [0]	— (-) [-]	3,085 (-) [2]	— (-) [-]	3,178 (-) [9]	— (-) [-]		
合格者数	958 (-) [0]	— (-) [-]	934 (-) [0]	— (-) [-]	1,197 (-) [1]	— (-) [-]	1,101 (-) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	396 (-) [0]	— (-) [-]	412 (-) [0]	— (-) [-]	423 (-) [1]	— (-) [-]	367 (-) [2]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.11		1.14		0.94			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 396	[-] (-) -	[0] (-) 412	[-] (-) -	[1] (-) 423	[-] (-) -	[2] (-) 367	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 399	[-] (-) -	[0] (-) 394	[-] (-) -	[0] (-) 406	[-] (-) -	[1] (-) 417	[-] (-) -	
3年次	[0] (12) 412	[-] (-) -	[0] (13) 398	[-] (-) -	[0] (12) 393	[-] (-) -	[0] (25) 404	[-] (-) -	
4年次	[0] (53) 434	[-] (-) -	[0] (56) 458	[-] (-) -	[0] (58) 448	[-] (-) -	[0] (66) 454	[-] (-) -	
計	[0] (65) 1,641	[-] (-) -	[0] (69) 1,662	[-] (-) -	[1] (70) 1,670	[-] (-) -	[3] (91) 1,642	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	396 人	7 人	平成26年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 その他(1人)	1.76 %
			平成27年度	1 人	0 人	その他(1人)	
			平成28年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 経済的理由(1人)、その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	412 人	8 人	平成27年度	6 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、経済的理由(1人)、 その他(3人)	1.94 %
			平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	423 人	6 人	平成28年度	6 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 経済的理由(2人)、就職(1人)、その他(1人)	1.41 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	367 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	1,598 人	21 人					1.31 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
法学部 国際企業関係法学科 学士(法学)	4 年	168 人	— 年次 人	672 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	160 (-) [-]	—	160 (-) [-]	—	160 (-) [-]	—	168 (-) [-]	—	1.10倍	
志願者数	1,490 (-) [6]	— (-) [-]	1,326 (-) [8]	— (-) [-]	1,684 (-) [9]	— (-) [-]	2,014 (-) [13]	— (-) [-]		
受験者数	1,258 (-) [6]	— (-) [-]	1,054 (-) [6]	— (-) [-]	1,540 (-) [6]	— (-) [-]	1,832 (-) [12]	— (-) [-]		
合格者数	535 (-) [3]	— (-) [-]	518 (-) [1]	— (-) [-]	630 (-) [2]	— (-) [-]	622 (-) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	191 (-) [1]	— (-) [-]	185 (-) [1]	— (-) [-]	175 (-) [1]	— (-) [-]	168 (-) [2]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.19		1.15		1.09		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って
いる場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入して
ください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入して
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 191	[-] (-) -	[1] (-) 185	[-] (-) -	[1] (-) 175	[-] (-) -	[2] (-) 168	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 170	[-] (-) -	[1] (-) 186	[-] (-) -	[1] (-) 184	[-] (-) -	[1] (-) 172	[-] (-) -	
3年次	[3] (7) 201	[-] (-) -	[0] (7) 168	[-] (-) -	[1] (6) 184	[-] (-) -	[1] (6) 182	[-] (-) -	
4年次	[1] (32) 187	[-] (-) -	[2] (31) 228	[-] (-) -	[1] (42) 202	[-] (-) -	[2] (30) 212	[-] (-) -	
計	[5] (39) 749		[4] (38) 767		[4] (48) 745		[6] (36) 734		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	191 人	7 人	平成26年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)	3.66 %
			平成27年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 その他(1人)	
			平成28年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	185 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	1.62 %
			平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	175 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)	1.71 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	168 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	719 人	13 人					1.80 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経済学科 学士 (経済学)	4 年	467 人	— 年次 人	1,868 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	355 (-) [-]	—	355 (-) [-]	—	370 (-) [-]	—	467 (-) [-]	—	1.10倍	
志願者数	7,694 (-) [63]	— (-) [-]	7,233 (-) [76]	— (-) [-]	7,463 (-) [84]	— (-) [-]	8,135 (-) [161]	— (-) [-]		
受験者数	6,952 (-) [63]	— (-) [-]	6,481 (-) [61]	— (-) [-]	6,740 (-) [74]	— (-) [-]	7,414 (-) [143]	— (-) [-]		
合格者数	1,510 (-) [31]	— (-) [-]	1,494 (-) [36]	— (-) [-]	1,342 (-) [45]	— (-) [-]	1,236 (-) [36]	— (-) [-]		
B 入学者数	429 (-) [18]	— (-) [-]	430 (-) [21]	— (-) [-]	414 (-) [19]	— (-) [-]	415 (-) [19]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.20		1.21		1.11		0.88			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[18] (-) 429	[-] (-) -	[21] (-) 430	[-] (-) -	[19] (-) 414	[-] (-) -	[19] (-) 415	[-] (-) -	
2年次	[14] (-) 416	[-] (-) -	[17] (-) 425	[-] (-) -	[19] (-) 425	[-] (-) -	[20] (-) 413	[-] (-) -	
3年次	[15] (-) 441	[-] (-) -	[14] (-) 424	[-] (-) -	[15] (-) 436	[-] (-) -	[18] (-) 437	[-] (-) -	
4年次	[15] (93) 458	[-] (-) -	[18] (86) 525	[-] (-) -	[18] (81) 505	[-] (-) -	[25] (88) 522	[-] (-) -	
計	[62] (93) 1,744	[-] (-) -	[70] (86) 1,804	[-] (-) -	[71] (81) 1,780	[-] (-) -	[82] (88) 1,787	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	429 人	12 人	平成26年度	4 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 経済的理由(1人)	2.79 %
			平成27年度	3 人	2 人	経済的理由(2人)、 その他(1人)	
			平成28年度	5 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2人)、 就学意欲の低下(1人)、 家庭の事情(1人)、その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	430 人	7 人	平成27年度	5 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)	1.62 %
			平成28年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	
			平成29年度	1 人	1 人	就職(1人)	
平成28年度 入学者	414 人	2 人	平成28年度	1 人	0 人	その他(1人)	0.48 %
			平成29年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	
平成29年度 入学者	415 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	1,688 人	21 人					1.24 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
商学部 経営学科 学士 (商学)	4 年	350 人	— 年次 人	1,400 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	320 (-) [-]	—	320 (-) [-]	—	320 (-) [-]	—	350 (-) [-]	—	1.12倍	
志願者数	4,710 (-) [145]	— (-) [-]	3,882 (-) [120]	— (-) [-]	5,242 (-) [188]	— (-) [-]	4,864 (-) [165]	— (-) [-]		
受験者数	4,288 (-) [145]	— (-) [-]	3,549 (-) [120]	— (-) [-]	4,888 (-) [183]	— (-) [-]	4,537 (-) [165]	— (-) [-]		
合格者数	1,165 (-) [52]	— (-) [-]	1,125 (-) [41]	— (-) [-]	1,074 (-) [51]	— (-) [-]	1,016 (-) [53]	— (-) [-]		
B 入学者数	373 (-) [27]	— (-) [-]	369 (-) [17]	— (-) [-]	366 (-) [30]	— (-) [-]	368 (-) [26]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.15		1.14		1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[27] (-) 373	[-] (-) -	[17] (-) 369	[-] (-) -	[30] (-) 366	[-] (-) -	[26] (-) 368	[-] (-) -	
2年次	[26] (-) 380	[-] (-) -	[27] (-) 370	[-] (-) -	[16] (-) 361	[-] (-) -	[24] (-) 361	[-] (-) -	
3年次	[17] (-) 346	[-] (-) -	[26] (-) 379	[-] (-) -	[22] (-) 369	[-] (-) -	[15] (-) 359	[-] (-) -	
4年次	[35] (68) 403	[-] (-) -	[26] (63) 412	[-] (-) -	[32] (74) 451	[-] (-) -	[33] (75) 442	[-] (-) -	
計	[105] (68) 1,502	[-] (-) -	[96] (63) 1,530	[-] (-) -	[100] (74) 1,547	[-] (-) -	[98] (75) 1,530	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成26年度 入学者	373 人	12 人	平成26年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 経済的理由(1人)	3.21 %	
			平成27年度	3 人	1 人			他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)
			平成28年度	6 人	3 人			経済的理由(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、その他(2人)
			平成29年度	0 人	0 人			
平成27年度 入学者	369 人	8 人	平成27年度	4 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、経済的理由(1人)、 家庭の事情(1人)、その他(1人)	2.16 %	
			平成28年度	4 人	1 人			他の教育機関への入学・転学(2人)、 経済的理由(1人)、海外留学(1人)
			平成29年度	0 人	0 人			
平成28年度 入学者	366 人	7 人	平成28年度	6 人	3 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 経済的理由(2人)、その他(2人)	1.91 %	
			平成29年度	1 人	1 人			他の教育機関への入学・転学(1人)
平成29年度 入学者	368 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %	
合 計	1,476 人	27 人					1.82 %	

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
商学部 商業・貿易学科 学士(商学)	4 年	323 人	- 年次 人	1,292 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	295 (-) [-]	-	295 (-) [-]	-	295 (-) [-]	-	323 (-) [-]	-	1.06倍	
志願者数	2,700 (-) [71]	- (-) [-]	3,051 (-) [67]	- (-) [-]	2,911 (-) [106]	- (-) [-]	3,082 (-) [74]	- (-) [-]		
受験者数	2,464 (-) [71]	- (-) [-]	2,815 (-) [66]	- (-) [-]	2,695 (-) [103]	- (-) [-]	2,893 (-) [73]	- (-) [-]		
合格者数	790 (-) [27]	- (-) [-]	900 (-) [28]	- (-) [-]	776 (-) [28]	- (-) [-]	714 (-) [25]	- (-) [-]		
B 入学者数	340 (-) [17]	- (-) [-]	350 (-) [16]	- (-) [-]	306 (-) [10]	- (-) [-]	295 (-) [14]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.15		1.18		1.03		0.91			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って
いる場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「-」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
ください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入して
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[17] (-) 340	[-] (-) -	[16] (-) 350	[-] (-) -	[10] (-) 306	[-] (-) -	[14] (-) 295	[-] (-) -	
2年次	[17] (-) 330	[-] (-) -	[15] (-) 339	[-] (-) -	[16] (-) 353	[-] (-) -	[10] (-) 307	[-] (-) -	
3年次	[23] (-) 332	[-] (-) -	[16] (-) 332	[-] (-) -	[14] (-) 341	[-] (-) -	[16] (-) 351	[-] (-) -	
4年次	[37] (72) 389	[-] (-) -	[34] (47) 381	[-] (-) -	[24] (54) 383	[-] (-) -	[23] (51) 391	[-] (-) -	
計	[94] (72) 1,391	[-] (-) -	[81] (47) 1,402	[-] (-) -	[64] (54) 1,383	[-] (-) -	[63] (51) 1,344	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	340 人	5 人	平成26年度	3 人	2 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 経済的理由(1人)、家庭の事情(1人)	1.47 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	
			平成29年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	
平成27年度 入学者	350 人	6 人	平成27年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	1.71 %
			平成28年度	4 人	0 人	経済的理由(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	306 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 経済的理由(1人)	0.65 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	295 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	1,291 人	13 人					1.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 数学科 学士(理学)	4 年	70 人	— 年次 人	280 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (-) [-]	—	65 (-) [-]	—	65 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	1.02倍	
志願者数	923 (-) [0]	— (-) [-]	995 (-) [3]	— (-) [-]	971 (-) [3]	— (-) [-]	764 (-) [3]	— (-) [-]		
受験者数	797 (-) [0]	— (-) [-]	891 (-) [3]	— (-) [-]	880 (-) [2]	— (-) [-]	693 (-) [3]	— (-) [-]		
合格者数	232 (-) [0]	— (-) [-]	228 (-) [2]	— (-) [-]	226 (-) [0]	— (-) [-]	244 (-) [0]	— (-) [-]		
B 入学者数	79 (-) [0]	— (-) [-]	71 (-) [2]	— (-) [-]	51 (-) [0]	— (-) [-]	71 (-) [0]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.21		1.09		0.78		1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って
いる場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入して
ください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入して
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 79	[-] (-) -	[2] (-) 71	[-] (-) -	[0] (-) 51	[-] (-) -	[0] (-) 71	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 65	[-] (-) -	[0] (-) 79	[-] (-) -	[2] (-) 69	[-] (-) -	[0] (-) 52	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) 86	[-] (-) -	[0] (-) 65	[-] (-) -	[0] (-) 78	[-] (-) -	[2] (-) 67	[-] (-) -	
4年次	[0] (15) 97	[-] (-) -	[0] (8) 92	[-] (-) -	[0] (10) 75	[-] (-) -	[0] (9) 86	[-] (-) -	
計	[0] (15) 327	[-] (-) -	[2] (8) 307	[-] (-) -	[2] (10) 273	[-] (-) -	[2] (9) 276	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	79 人	2 人	平成26年度	0 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)	2.53 %
			平成27年度	1 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	71 人	4 人	平成27年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 経済的理由(1人)	5.63 %
			平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	51 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	71 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	272 人	6 人					2.20 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 物理学科 学士(理学)	4 年	70 人	— 年次 人	280 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (-) [-]	—	65 (-) [-]	—	65 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	0.97倍	
志願者数	1,610 (-) [0]	— (-) [-]	1,539 (-) [3]	— (-) [-]	1,348 (-) [4]	— (-) [-]	1,414 (-) [2]	— (-) [-]		
受験者数	1,445 (-) [0]	— (-) [-]	1,366 (-) [2]	— (-) [-]	1,179 (-) [4]	— (-) [-]	1,247 (-) [2]	— (-) [-]		
合格者数	311 (-) [0]	— (-) [-]	290 (-) [2]	— (-) [-]	316 (-) [2]	— (-) [-]	345 (-) [2]	— (-) [-]		
B 入学者数	73 (-) [0]	— (-) [-]	46 (-) [1]	— (-) [-]	60 (-) [1]	— (-) [-]	82 (-) [2]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.12		0.70		0.92		1.17			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って
いる場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入して
ください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入して
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 73	[-] (-) -	[1] (-) 46	[-] (-) -	[1] (-) 60	[-] (-) -	[2] (-) 82	[-] (-) -	
2年次	[1] (-) 68	[-] (-) -	[0] (-) 73	[-] (-) -	[1] (-) 46	[-] (-) -	[1] (-) 60	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) 81	[-] (-) -	[1] (-) 67	[-] (-) -	[0] (-) 73	[-] (-) -	[1] (-) 46	[-] (-) -	
4年次	[0] (16) 94	[-] (-) -	[0] (8) 89	[-] (-) -	[1] (10) 77	[-] (-) -	[0] (13) 85	[-] (-) -	
計	[1] (16) 316	[-] (-) -	[2] (8) 275	[-] (-) -	[3] (10) 256	[-] (-) -	[4] (13) 273	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	73 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人	経済的理由(1人)	1.36 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	46 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	60 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	82 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	261 人	1 人					0.38 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 都市環境学科 学士(工学)	4年	90人	- 年次人	360人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	1.12倍	
志願者数	1,911 (-) [18]	- (-) [-]	1,817 (-) [26]	- (-) [-]	1,873 (-) [18]	- (-) [-]	1,699 (-) [21]	- (-) [-]		
受験者数	1,715 (-) [18]	- (-) [-]	1,684 (-) [24]	- (-) [-]	1,744 (-) [15]	- (-) [-]	1,535 (-) [20]	- (-) [-]		
合格者数	314 (-) [5]	- (-) [-]	306 (-) [8]	- (-) [-]	324 (-) [7]	- (-) [-]	295 (-) [5]	- (-) [-]		
B 入学者数	94 (-) [2]	- (-) [-]	88 (-) [5]	- (-) [-]	87 (-) [3]	- (-) [-]	103 (-) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.17		1.10		1.08		1.14			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 94	[-] (-) -	[5] (-) 88	[-] (-) -	[3] (-) 87	[-] (-) -	[2] (-) 103	[-] (-) -	
2年次	[1] (-) 75	[-] (-) -	[2] (-) 91	[-] (-) -	[5] (-) 87	[-] (-) -	[2] (-) 86	[-] (-) -	
3年次	[5] (-) 117	[-] (-) -	[1] (-) 75	[-] (-) -	[2] (-) 90	[-] (-) -	[5] (-) 84	[-] (-) -	
4年次	[7] (15) 107	[-] (-) -	[6] (21) 139	[-] (-) -	[4] (20) 97	[-] (-) -	[5] (15) 107	[-] (-) -	
計	[15] (15) 393		[14] (21) 393		[14] (20) 361		[14] (15) 380		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	94 人	4 人	平成26年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 海外留学(1人)	4.25 %
			平成27年度	1 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	88 人	4 人	平成27年度	1 人	0 人	その他(1人)	4.54 %
			平成28年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	87 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	1.14 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	103 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	372 人	9 人					2.41 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 精密機械工学科 学士 (工学)	4年	145人	— 年次人	580人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130 (-) [-]	—	130 (-) [-]	—	130 (-) [-]	—	145 (-) [-]	—	1.06倍	
志願者数	3,128 (-) [29]	— (-) [-]	3,216 (-) [36]	— (-) [-]	2,767 (-) [32]	— (-) [-]	2,514 (-) [26]	— (-) [-]		
受験者数	2,806 (-) [29]	— (-) [-]	2,946 (-) [34]	— (-) [-]	2,538 (-) [31]	— (-) [-]	2,268 (-) [22]	— (-) [-]		
合格者数	540 (-) [6]	— (-) [-]	545 (-) [5]	— (-) [-]	550 (-) [9]	— (-) [-]	575 (-) [6]	— (-) [-]		
B 入学者数	136 (-) [3]	— (-) [-]	131 (-) [1]	— (-) [-]	140 (-) [4]	— (-) [-]	166 (-) [2]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.00		1.07		1.14			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] (-) 136	[-] (-) -	[1] (-) 131	[-] (-) -	[4] (-) 140	[-] (-) -	[2] (-) 166	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 141	[-] (-) -	[3] (-) 135	[-] (-) -	[1] (-) 130	[-] (-) -	[3] (-) 139	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) 143	[-] (-) -	[0] (-) 140	[-] (-) -	[3] (-) 133	[-] (-) -	[1] (-) 130	[-] (-) -	
4年次	[2] (31) 164	[-] (-) -	[2] (33) 174	[-] (-) -	[2] (48) 189	[-] (-) -	[4] (36) 165	[-] (-) -	
計	[5] (31) 584	[-] (-) -	[6] (33) 580	[-] (-) -	[10] (48) 592	[-] (-) -	[10] (36) 600	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	136 人	7 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	5.14 %
			平成27年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)	
			平成28年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)	
			平成29年度	1 人	0 人	就職(1人)	
平成27年度 入学者	131 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	0.76 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	140 人	1 人	平成28年度	1 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	0.71 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	166 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	573 人	9 人					1.57 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 電気電子情報通信工学科 学士(工学)	4 年	135 人	— 年次 人	540 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	125 (-) [-]	—	125 (-) [-]	—	125 (-) [-]	—	135 (-) [-]	—	1.01倍	
志願者数	2,568 (-) [10]	— (-) [-]	2,331 (-) [16]	— (-) [-]	2,214 (-) [17]	— (-) [-]	2,263 (-) [8]	— (-) [-]		
受験者数	2,301 (-) [10]	— (-) [-]	2,123 (-) [12]	— (-) [-]	1,998 (-) [13]	— (-) [-]	2,039 (-) [6]	— (-) [-]		
合格者数	430 (-) [4]	— (-) [-]	487 (-) [2]	— (-) [-]	481 (-) [5]	— (-) [-]	522 (-) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	123 (-) [3]	— (-) [-]	115 (-) [2]	— (-) [-]	120 (-) [2]	— (-) [-]	162 (-) [1]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.98		0.92		0.96		1.20			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] (-) 123	[-] (-) -	[2] (-) 115	[-] (-) -	[2] (-) 120	[-] (-) -	[1] (-) 162	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 140	[-] (-) -	[3] (-) 122	[-] (-) -	[2] (-) 114	[-] (-) -	[2] (-) 119	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) 137	[-] (-) -	[0] (-) 139	[-] (-) -	[2] (-) 125	[-] (-) -	[1] (-) 115	[-] (-) -	
4年次	[5] (21) 160	[-] (-) -	[2] (25) 162	[-] (-) -	[1] (28) 166	[-] (-) -	[2] (35) 157	[-] (-) -	
計	[8] (21) 560		[7] (25) 538		[7] (28) 525		[6] (35) 553		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	123 人	5 人	平成26年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	4.06 %
			平成27年度	1 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	
平成27年度 入学者	115 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.86 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	120 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	その他(1人)	0.83 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	162 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	520 人	7 人					1.34 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 応用化学科 学士 (工学)	4年	145人	— 年次人	580人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130 (-) [-]	—	130 (-) [-]	—	130 (-) [-]	—	145 (-) [-]	—	1.00倍	
志願者数	3,115 (-) [10]	— (-) [-]	2,568 (-) [11]	— (-) [-]	2,591 (-) [19]	— (-) [-]	2,194 (-) [13]	— (-) [-]		
受験者数	2,795 (-) [10]	— (-) [-]	2,316 (-) [10]	— (-) [-]	2,329 (-) [17]	— (-) [-]	1,979 (-) [11]	— (-) [-]		
合格者数	506 (-) [4]	— (-) [-]	536 (-) [4]	— (-) [-]	567 (-) [3]	— (-) [-]	685 (-) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	127 (-) [1]	— (-) [-]	116 (-) [3]	— (-) [-]	112 (-) [1]	— (-) [-]	191 (-) [2]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.97		0.89		0.86		1.31			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 127	[-] (-) -	[3] (-) 116	[-] (-) -	[1] (-) 112	[-] (-) -	[2] (-) 191	[-] (-) -	
2年次	[1] (-) 163	[-] (-) -	[1] (-) 124	[-] (-) -	[1] (-) 111	[-] (-) -	[1] (-) 110	[-] (-) -	
3年次	[2] (-) 180	[-] (-) -	[1] (-) 160	[-] (-) -	[0] (-) 121	[-] (-) -	[1] (-) 111	[-] (-) -	
4年次	[4] (46) 190	[-] (-) -	[4] (53) 232	[-] (-) -	[3] (50) 211	[-] (-) -	[0] (44) 162	[-] (-) -	
計	[8] (46) 660		[9] (53) 632		[5] (50) 555		[4] (44) 574		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	127 人	9 人	平成26年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、家庭の事情(1人)	7.08 %
			平成27年度	3 人	1 人	経済的理由(2人)、就職(1人)	
			平成28年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	116 人	6 人	平成27年度	5 人	2 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 その他(2人)	5.17 %
			平成28年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	112 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就職(1人)	1.78 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	191 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	546 人	17 人					3.11 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 経営システム工学科 学士(工学)	4年	115人	- 年次人	460人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	105 (-) [-]	-	105 (-) [-]	-	105 (-) [-]	-	115 (-) [-]	-	1.09倍	
志願者数	2,035 (-) [12]	- (-) [-]	1,691 (-) [19]	- (-) [-]	1,795 (-) [19]	- (-) [-]	1,657 (-) [13]	- (-) [-]		
受験者数	1,824 (-) [12]	- (-) [-]	1,523 (-) [16]	- (-) [-]	1,616 (-) [17]	- (-) [-]	1,483 (-) [12]	- (-) [-]		
合格者数	306 (-) [5]	- (-) [-]	348 (-) [5]	- (-) [-]	365 (-) [4]	- (-) [-]	378 (-) [6]	- (-) [-]		
B 入学者数	108 (-) [4]	- (-) [-]	117 (-) [0]	- (-) [-]	104 (-) [4]	- (-) [-]	145 (-) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.11		0.99		1.26			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (-) 108	[-] (-) -	[0] (-) 117	[-] (-) -	[4] (-) 104	[-] (-) -	[2] (-) 145	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 128	[-] (-) -	[4] (-) 106	[-] (-) -	[0] (-) 117	[-] (-) -	[4] (-) 102	[-] (-) -	
3年次	[4] (-) 116	[-] (-) -	[0] (-) 128	[-] (-) -	[4] (-) 106	[-] (-) -	[0] (-) 116	[-] (-) -	
4年次	[3] (14) 119	[-] (-) -	[5] (14) 129	[-] (-) -	[1] (27) 155	[-] (-) -	[3] (15) 118	[-] (-) -	
計	[11] (14) 471		[9] (14) 480		[9] (27) 482		[9] (15) 481		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	108 人	5 人	平成26年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	4.62 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	3 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)、就職(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	117 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人		0.85 %
			平成28年度	1 人	0 人	就職(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	104 人	2 人	平成28年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	1.92 %
			平成29年度	1 人	0 人	その他(1人)	
平成29年度 入学者	145 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	474 人	8 人					1.68 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 情報工学科 学士 (工学)	4 年	100 人	— 年次 人	400 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [-]	—	90 (-) [-]	—	90 (-) [-]	—	100 (-) [-]	—	1.00倍	
志願者数	2,054 (-) [13]	— (-) [-]	2,351 (-) [10]	— (-) [-]	2,059 (-) [30]	— (-) [-]	2,461 (-) [34]	— (-) [-]		
受験者数	1,808 (-) [13]	— (-) [-]	2,105 (-) [8]	— (-) [-]	1,840 (-) [22]	— (-) [-]	2,180 (-) [28]	— (-) [-]		
合格者数	313 (-) [6]	— (-) [-]	322 (-) [1]	— (-) [-]	356 (-) [3]	— (-) [-]	387 (-) [9]	— (-) [-]		
B 入学者数	95 (-) [3]	— (-) [-]	77 (-) [0]	— (-) [-]	94 (-) [2]	— (-) [-]	108 (-) [6]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		0.85		1.04		1.08			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] (-) 95	[-] (-) -	[0] (-) 77	[-] (-) -	[2] (-) 94	[-] (-) -	[6] (-) 108	[-] (-) -	
2年次	[2] (-) 93	[-] (-) -	[3] (-) 95	[-] (-) -	[0] (-) 77	[-] (-) -	[2] (-) 92	[-] (-) -	
3年次	[1] (-) 95	[-] (-) -	[2] (-) 92	[-] (-) -	[3] (-) 95	[-] (-) -	[0] (-) 77	[-] (-) -	
4年次	[1] (26) 127	[-] (-) -	[1] (19) 114	[-] (-) -	[2] (28) 121	[-] (-) -	[4] (31) 124	[-] (-) -	
計	[7] (26) 410	[-] (-) -	[6] (19) 378	[-] (-) -	[7] (28) 387	[-] (-) -	[12] (31) 401	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	95 人	2 人	平成26年度	0 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 就学意欲の低下(1人)	2.10 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	1 人	0 人		
平成27年度 入学者	77 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	94 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)	2.12 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	108 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	374 人	4 人					1.06 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 生命科学科 学士 (理学)	4 年	75 人	— 年次 人	300 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	75 (-) [-]	—	1.03倍	
志願者数	1,487 (-) [7]	— (-) [-]	1,422 (-) [14]	— (-) [-]	1,271 (-) [19]	— (-) [-]	1,171 (-) [20]	— (-) [-]		
受験者数	1,309 (-) [7]	— (-) [-]	1,298 (-) [12]	— (-) [-]	1,143 (-) [15]	— (-) [-]	1,056 (-) [18]	— (-) [-]		
合格者数	300 (-) [4]	— (-) [-]	299 (-) [4]	— (-) [-]	284 (-) [4]	— (-) [-]	363 (-) [2]	— (-) [-]		
B 入学者数	84 (-) [2]	— (-) [-]	73 (-) [2]	— (-) [-]	57 (-) [1]	— (-) [-]	83 (-) [1]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.20		1.04		0.81		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 84	[-] (-) -	[2] (-) 73	[-] (-) -	[1] (-) 57	[-] (-) -	[1] (-) 83	[-] (-) -	
2年次	[4] (-) 85	[-] (-) -	[2] (-) 84	[-] (-) -	[2] (-) 72	[-] (-) -	[1] (-) 55	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) 62	[-] (-) -	[4] (-) 85	[-] (-) -	[2] (-) 84	[-] (-) -	[2] (-) 72	[-] (-) -	
4年次	[1] (13) 90	[-] (-) -	[0] (10) 72	[-] (-) -	[4] (10) 95	[-] (-) -	[4] (12) 96	[-] (-) -	
計	[7] (13) 321	[-] (-) -	[8] (10) 314	[-] (-) -	[9] (10) 308	[-] (-) -	[8] (12) 306	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	84 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	73 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	その他(2人)	2.73 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	57 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	3.50 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	83 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	297 人	4 人					1.34 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 人間総合理工学科 学士 (工学)	4 年	75 人	— 年次 人	300 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	70 (-) [-]	—	75 (-) [-]	—	1.07倍	
志願者数	1,050 (-) [5]	— (-) [-]	929 (-) [8]	— (-) [-]	957 (-) [6]	— (-) [-]	900 (-) [7]	— (-) [-]		
受験者数	970 (-) [5]	— (-) [-]	862 (-) [7]	— (-) [-]	877 (-) [6]	— (-) [-]	829 (-) [6]	— (-) [-]		
合格者数	186 (-) [1]	— (-) [-]	201 (-) [2]	— (-) [-]	204 (-) [3]	— (-) [-]	227 (-) [2]	— (-) [-]		
B 入学者数	77 (-) [1]	— (-) [-]	71 (-) [1]	— (-) [-]	74 (-) [2]	— (-) [-]	85 (-) [1]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.10		1.01		1.05		1.13			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 77	[-] (-) -	[1] (-) 71	[-] (-) -	[2] (-) 74	[-] (-) -	[1] (-) 85	[-] (-) -	
2年次	[0] (-) 56	[-] (-) -	[1] (-) 77	[-] (-) -	[1] (-) 71	[-] (-) -	[0] (-) 73	[-] (-) -	
3年次	[0] (-) -	[-] (-) -	[0] (-) 56	[-] (-) -	[1] (-) 77	[-] (-) -	[1] (-) 71	[-] (-) -	
4年次	[0] (-) -	[-] (-) -	[0] (-) -	[-] (-) -	[0] (-) 54	[-] (-) -	[0] (5) 82	[-] (-) -	
計	[1] [0] 133	[-] [-] -	[2] [0] 204	[-] [-] -	[4] [0] 276	[-] [-] -	[2] (5) 311	[-] [-] -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	77 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	71 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人		1.40 %
			平成28年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	74 人	1 人	平成28年度	0 人	0 人		1.35 %
			平成29年度	1 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
平成29年度 入学者	85 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	307 人	2 人					0.65 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 人文社会学科 学士(文学) 学士(史学) 学士(哲学) 学士(社会学) 学士(教育学)	4 年	990 人	- 年次 人	3,960 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	900 (-) [-]	-	900 (-) [-]	-	900 (-) [-]	-	990 (-) [-]	-	1.10倍	
志願者数	11,782 (-) [94]	- (-) [-]	12,934 (-) [126]	- (-) [-]	13,099 (-) [154]	- (-) [-]	12,026 (-) [151]	- (-) [-]		
受験者数	11,083 (-) [94]	- (-) [-]	12,042 (-) [108]	- (-) [-]	12,314 (-) [125]	- (-) [-]	11,168 (-) [118]	- (-) [-]		
合格者数	3,467 (-) [22]	- (-) [-]	3,861 (-) [25]	- (-) [-]	3,281 (-) [18]	- (-) [-]	3,314 (-) [16]	- (-) [-]		
B 入学者数	1,004 (-) [15]	- (-) [-]	1,052 (-) [16]	- (-) [-]	936 (-) [11]	- (-) [-]	1,106 (-) [7]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.16		1.04		1.11			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[15] (-) 1,004	[-] (-) -	[16] (-) 1,052	[-] (-) -	[11] (-) 936	[-] (-) -	[7] (-) 1,106	[-] (-) -	
2年次	[11] (-) 898	[-] (-) -	[15] (-) 993	[-] (-) -	[16] (-) 1,046	[-] (-) -	[11] (-) 921	[-] (-) -	
3年次	[5] (12) 961	[-] (-) -	[11] (16) 900	[-] (-) -	[13] (4) 991	[-] (-) -	[14] (19) 1,035	[-] (-) -	
4年次	[19] (222) 1,299	[-] (-) -	[8] (207) 1,160	[-] (-) -	[13] (183) 1,080	[-] (-) -	[14] (152) 1,140	[-] (-) -	
計	[50] (234) 4,162	[-] (-) -	[50] (223) 4,105	[-] (-) -	[53] (187) 4,053	[-] (-) -	[46] (171) 4,202	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	1,004 人	24 人	平成26年度	10 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(5人)、 経済的理由(2人)、その他(3人)	2.39 %
			平成27年度	6 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、 経済的理由(1人)、就職(1人)、その他(3人)	
			平成28年度	7 人	3 人	経済的理由(4人)、その他(3人)	
			平成29年度	1 人	0 人	海外留学(1人)	
平成27年度 入学者	1,052 人	18 人	平成27年度	6 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、 就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)	1.71 %
			平成28年度	10 人	2 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、 経済的理由(3人)、就学意欲の低下(1人)、就職(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)	
			平成29年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 就学意欲の低下(1人)	
平成28年度 入学者	936 人	16 人	平成28年度	16 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)、 経済的理由(3人)、海外留学(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(7人)	1.70 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	1,106 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	4,098 人	58 人					1.41 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合政策学部 国際政策文化学科 学士(総合政策)	4 年	150 人	— 年次 人	600 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	—	100 (-) [-]	—	100 (-) [-]	—	150 (-) [-]	—	1.05倍	
志願者数	2,147 (-) [11]	— (-) [-]	1,991 (-) [15]	— (-) [-]	2,247 (-) [16]	— (-) [-]	2,459 (-) [20]	— (-) [-]		
受験者数	1,828 (-) [11]	— (-) [-]	1,683 (-) [11]	— (-) [-]	1,974 (-) [12]	— (-) [-]	2,130 (-) [16]	— (-) [-]		
合格者数	362 (-) [4]	— (-) [-]	370 (-) [3]	— (-) [-]	416 (-) [1]	— (-) [-]	436 (-) [1]	— (-) [-]		
B 入学者数	107 (-) [2]	— (-) [-]	114 (-) [2]	— (-) [-]	107 (-) [0]	— (-) [-]	140 (-) [1]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.14		1.07		0.93			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って
いる場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「—」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入して
ください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入して
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 107	[-] (-) -	[2] (-) 114	[-] (-) -	[0] (-) 107	[-] (-) -	[1] (-) 140	[-] (-) -	
2年次	[1] (-) 92	[-] (-) -	[2] (-) 105	[-] (-) -	[2] (-) 114	[-] (-) -	[0] (-) 106	[-] (-) -	
3年次	[2] (-) 129	[-] (-) -	[1] (-) 90	[-] (-) -	[1] (-) 104	[-] (-) -	[2] (-) 112	[-] (-) -	
4年次	[2] (22) 152	[-] (-) -	[3] (33) 161	[-] (-) -	[1] (27) 117	[-] (-) -	[1] (25) 129	[-] (-) -	
計	[7] (22) 480		[8] (33) 470		[4] (27) 442		[4] (25) 487		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	107 人	2 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	1.86 %
			平成27年度	1 人	0 人	その他(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	114 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人		1.75 %
			平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 その他(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	107 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	0.93 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	140 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	468 人	5 人					1.06 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	多摩校地には借用地 13,275㎡がある。詳細 については添付資料に 記載した。		
	校舎敷地	398,394 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	398,394 ㎡			
	運動場用地	107,967 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	107,967 ㎡			
	小 計	506,361 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	506,361 ㎡			
	そ の 他	46,018 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	46,018 ㎡			
	合 計	552,379 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	552,379 ㎡			
(2) 校 舎		専 用 (286,881㎡)	共 用 (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 (0㎡)	計 (286,881㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 302室	演 習 室 199室	実験実習室 326室 325室	情報処理学習施設 25室 24室 (補助職員70人)	語学学習施設 4室 (補助職員0人)	大学全体 用途変更のため (29)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		用途変更のため (29)		
		大学全体		734 732 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書には、外部保管委 託分の図書を含む。 図書、学術雑誌、視聴覚 資料：購入・寄贈による 増加、除却・抹消等によ る減少の結果、増加し たため 機械・器具、標本：新規 取得及び廃棄による増減 のため (29)
	大学全体	2,356,613 [963,970] 2,325,593 [955,581]	28,609 [12,908] 28,502 [12,853]	38,049 [37,937] 36,279 [36,172]	10,458 10,358	21,402 21,855	44 27	
		2,356,613 ([963,970]) 2,325,593 ([955,581])	28,609 ([12,908]) 28,502 ([12,853])	38,049 ([37,987]) 36,279 ([36,172])	(10,458) (10,358)	(21,402) (21,855)	(44) (27)	
	計	2,356,613 [963,970] 2,325,593 [955,581]	28,609 [12,908] 28,502 [12,853]	38,049 [37,937] 36,279 [36,172]	10,458 10,358	21,402 21,855	44 27	
		2,356,613 ([963,970]) 2,325,593 ([955,581])	28,609 ([12,908]) 28,502 ([12,853])	38,049 ([37,987]) 36,279 ([36,172])	(10,458) (10,358)	(21,402) (21,855)	(44) (27)	
	(6) 図 書 館		面 積 22,440㎡ 22,265㎡	閱 覧 座 席 数 3,282席 3,494席	収 納 可 能 冊 数 1,755,085冊 1,755,158冊		面積、閲覧座席数、収納 可能冊数：法学部学生図 書室の改修に伴う変更 (29)	
(7) 体 育 館		面 積 23,819㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
			弓道場	1棟	524.62㎡			
			馬房	1棟	377.40㎡			
			雨天練習場	1棟	566.40㎡			
			硬式野球場本部棟	1棟	712.73㎡			
			射撃場	1棟	428.80㎡			
			硬式野球場	1面	14,530.40㎡			
			馬場		4,442.04㎡			
			陸上競技場	1面	22,879.80㎡			
			軟式野球場	1面	9,412.96㎡			
			軟式テニスコート	6面	4,212.00㎡			
			硬式テニスコート	4面	2,816.92㎡			
			ハンドボールコート	2面	2,366.29㎡			
			サッカー場	1面	10,901.70㎡			
			一般学生用フィールドA	1面	5,159.93㎡			

					バスケット・テニスコート	4面	2,421.26㎡		
					一般学生用フィールドB	1面	6,851.63㎡		
					バレーコートB（兼テニスコート）	3面	1,260.00㎡		
					バスケット・バレーコートA（兼テニスコート）	6面	3,334.00㎡		
					ラグビー場	1面	9,945.00㎡		
					ゴルフ教場	15打席	1,183.14㎡		
					屋外プール	2面	3,969.00㎡		
					洋弓場		497.11㎡		
					多目的コート（後楽園）		1,407.00㎡		
					合 計		11,200.13㎡		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設年度については、平成29年度予算に基づき再計算した。完成年度については、平成29年度予算額を基本に、再度、経費の見積りを算出した。(29)
		教員1人当り研究費等	601千円 605千円	601千円 605千円	図書購入費	645,009千円	648,372千円 645,009千円	648,372千円 645,009千円	
	共同研究費等	168,378千円 185,425千円	168,378千円 185,425千円	設備購入費	317,320千円	493,855千円 317,320千円	493,855千円 317,320千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体の経費 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む ※学生納付金は上から、法学部 経済学部 商学部 理工学部 文学部 総合政策学部	
		1,238千円	1,027千円 1,030千円	1,027千円 1,030千円	1,047千円 1,080千円	-千円	-千円		
		1,253千円	1,042千円 1,045千円	1,042千円 1,045千円	1,062千円 1,095千円	-千円	-千円		
		1,256千円	1,045千円 1,050千円	1,045千円 1,050千円	1,065千円 1,100千円	-千円	-千円		
		1,778千円	1,568千円 1,575千円	1,568千円 1,575千円	1,588千円 1,625千円	-千円	-千円		
		1,238千円	1,027千円 1,030千円	1,027千円 1,030千円	1,047千円 1,080千円	-千円	-千円		
		1,553千円	1,352千円 1,335千円	1,352千円 1,335千円	1,372千円 1,415千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		①手数料収入（入学検定料収入、試験料収入、証明手数料収入等） ②補助金収入（国庫補助金収入等） ③雑収入（入学案内売上収入等）					第2年次以降の学生納付金については、認可申請当時の予定目金額を確定金額に修正した。(29)		

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	中央大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》									
法学部						1.06		東京都八王子市東中野742番1	
法律学科	4	882	—	3,528	学士（法学）	1.05	昭和29年度		
政治学科	4	389	—	1,556	学士（法学）	1.06	昭和29年度		
国際企業関係法学科	4	168	—	672	学士（法学）	1.10	平成5年度		
経済学部						1.05		同上	
経済学科	4	467	—	1,868	学士（経済学）	1.10	昭和38年度		
経済情報システム学科	4	180	—	720	学士（経済学）	1.03	昭和38年度		
国際経済学科	4	265	—	1,060	学士（経済学）	1.04	昭和38年度		
公共・環境経済学科	4	150	—	600	学士（経済学）	1.02	平成5年度		
商学部						1.06		同上	
経営学科	4	350	—	1,400	学士（商学）	1.12	昭和38年度		
会計学科	4	367	—	1,468	学士（商学）	1.01	昭和38年度		
商業・貿易学科	4	323	—	1,292	学士（商学）	1.06	昭和38年度		
金融学科	4	130	—	520	学士（商学）	1.03	平成6年度		
理工学部						1.04		東京都文京区春日一丁目13番27号	
数学科	4	70	—	280	学士（理学）	1.02	昭和37年度		
物理学科	4	70	—	280	学士（理学）	0.97	昭和37年度		
都市環境学科	4	90	—	360	学士（工学）	1.12	昭和24年度		
精密機械工学科	4	145	—	580	学士（工学）	1.06	昭和24年度		
電気電子情報通信工学科	4	135	—	540	学士（工学）	1.01	昭和24年度		
応用化学科	4	145	—	580	学士（工学）	1.00	昭和24年度		
経営システム工学科	4	115	—	460	学士（工学）	1.09	昭和37年度		
情報工学科	4	100	—	400	学士（工学）	1.00	平成4年度		
生命科学科	4	75	—	300	学士（理学）	1.03	平成20年度		
人間総合理工学科	4	75	—	300	学士（工学）	1.07	平成25年度		
文学部						1.10		東京都八王子市東中野742番1	
人文社会学科	4	990	—	3,960	学士（文学） 学士（史学） 学士（哲学） 学士（社会学） 学士（教育学）	1.10	平成18年度		

総合政策学部						1.02		同 上
政策科学科	4	150	—	600	学士（総合政策）	1.01	平成5年度	
国際政策文化学科	4	150	—	600	学士（総合政策）	1.05	平成5年度	
通信教育部 （法学部通信教育課程）	4	3,000	—	12,000	学士（法学）	0.20	昭和25年度	同 上
法学研究科						0.32		東京都八王子市東中野742番1
公法専攻 （博士課程前期課程）	2	8	—	16	修士（法学）	0.50	昭和55年度	
民事法専攻 （博士課程前期課程）	2	20	—	40	修士（法学）	0.17	昭和26年度	
刑事法専攻 （博士課程前期課程）	2	10	—	20	修士（法学）	0.15	昭和26年度	
国際企業関係法専攻 （博士課程前期課程）	2	20	—	40	修士（法学）	0.17	平成9年度	
政治学専攻 （博士課程前期課程）	2	15	—	30	修士（政治学）	0.19	昭和26年度	
公法専攻 （博士課程後期課程）	3	3	—	9	博士（法学）	0.88	昭和55年度	
民事法専攻 （博士課程後期課程）	3	7	—	21	博士（法学）	0.76	昭和28年度	
刑事法専攻 （博士課程後期課程）	3	5	—	15	博士（法学）	0.53	昭和28年度	
国際企業関係法専攻 （博士課程後期課程）	3	10	—	30	博士（法学）	0.06	平成11年度	
政治学専攻 （博士課程後期課程）	3	3	—	9	博士（政治学）	0.33	昭和28年度	
経済学研究科						0.22		同 上
経済学専攻 （博士課程前期課程）	2	50	—	100	修士（経済学）	0.24	昭和26年度	
経済学専攻 （博士課程後期課程）	3	10	—	30	博士（経済学） 博士（会計学） 博士（経営学）	0.20	昭和36年度	
商学研究科						0.66		同 上
商学専攻 （博士課程前期課程）	2	25	—	50	修士（商学）	0.80	昭和26年度	
商学専攻 （博士課程後期課程）	3	5	—	15	博士（商学） 博士（経営学） 博士（会計学） 博士（経済学） 博士（金融学）	0.53	昭和29年度	

理工学研究科						0.64	東京都文京区春日一丁目13番27号	
数学専攻 (博士課程前期課程)	2	25	—	50	修士(理学)	0.40	平成3年度	
物理学専攻 (博士課程前期課程)	2	25	—	50	修士(理学)	0.66	昭和42年度	
都市人間環境学専攻 (博士課程前期課程)	2	60	—	120	修士(工学)	0.80	昭和28年度	平成29年度 名称変更
精密工学専攻 (博士課程前期課程)	2	52	—	104	修士(工学)	1.09	昭和30年度	
電気電子情報通信工学専攻 (博士課程前期課程)	2	45	—	90	修士(工学)	1.13	平成29年度	平成29年度 課程の変更
応用化学専攻 (博士課程前期課程)	2	45	—	90	修士(工学)	0.95	昭和30年度	
経営システム工学専攻 (博士課程前期課程)	2	30	—	60	修士(工学)	0.98	平成3年度	
情報工学専攻 (博士課程前期課程)	2	40	—	80	修士(工学)	0.50	平成29年度	平成29年度 課程の変更
生命科学専攻 (博士課程前期課程)	2	25	—	50	修士(理学) 修士(工学)	0.38	平成24年度	
数学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(理学)	0.55	平成6年度	
物理学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(理学)	0.33	平成3年度	
都市人間環境学専攻 (博士課程後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	1.48	昭和30年度	平成29年度 名称変更
精密工学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(工学)	0.33	昭和39年度	
電気電子情報通信工学専攻 (博士課程後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和39年度	平成29年度より 学生募集停止
応用化学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(工学)	0.44	昭和39年度	
経営システム工学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(工学)	0.11	平成10年度	
情報工学専攻 (博士課程後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成10年度	平成29年度より 学生募集停止
生命科学専攻 (博士課程後期課程)	3	2	—	6	博士(理学) 博士(工学)	0.33	平成24年度	
情報セキュリティ科学専攻 (博士課程後期課程)	3	—	—	—	博士(工学) 博士(理学)	—	平成19年度	平成29年度より 学生募集停止
電気・情報系専攻 (博士課程後期課程)	3	7	—	21	博士(工学)	0.28	平成29年度	平成29年度設置
文学研究科						0.40	東京都八王子市東中野742番1	
国文学専攻 (博士課程前期課程)	2	10	—	20	修士(文学)	0.70	昭和31年度	

英文学専攻 (博士課程前期課程)	2	10	—	20	修士(文学)	0.20	昭和31年度
独文学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	昭和31年度
仏文学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.30	昭和30年度
中国言語文化専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.40	平成18年度
日本史学専攻 (博士課程前期課程)	2	7	—	14	修士(史学)	1.35	昭和38年度
東洋史学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(史学)	0.60	昭和38年度
西洋史学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(史学)	0.20	昭和37年度
哲学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(哲学)	0.30	昭和31年度
社会学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(社会学)	1.00	昭和37年度
社会情報学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(社会情報学)	0.10	平成7年度
教育学専攻 (博士課程前期課程)	2	5	—	10	修士(教育学)	0.50	平成4年度
心理学専攻 (博士課程前期課程)	2	8	—	16	修士(心理学)	0.25	平成12年度
国文学専攻 (博士課程後期課程)	3	5	—	15	博士(文学)	0.40	昭和38年度
英文学専攻 (博士課程後期課程)	3	5	—	15	博士(文学)	0.20	昭和39年度
独文学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.11	昭和37年度
仏文学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	昭和37年度
中国言語文化専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.66	平成20年度
日本史学専攻 (博士課程後期課程)	3	5	—	15	博士(史学)	0.40	昭和37年度
東洋史学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(史学)	0.11	昭和38年度
西洋史学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(史学)	0.11	平成6年度
哲学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(哲学)	0.44	昭和37年度
社会学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(社会学)	0.33	昭和40年度
社会情報学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(社会情報学)	0.33	平成9年度

教育学専攻 (博士課程後期課程)	3	3	—	9	博士(教育学)	0.55	平成6年度		
心理学専攻 (博士課程後期課程)	3	4	—	12	博士(心理学)	0.41	平成14年度		
総合政策研究科						0.31		同上	
総合政策専攻 (博士課程前期課程)	2	40	—	80	修士(総合政策)	0.39	平成9年度		
総合政策専攻 (博士課程後期課程)	3	10	—	30	博士(総合政策) 博士(学術)	0.23	平成11年度		
公共政策研究科								東京都新宿区市谷田町一丁目18番	
公共政策専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(公共政策学)	—	平成17年度		平成28年度より 学生募集停止
国際会計研究科								同上	
国際会計専攻 (専門職学位課程)	2	—	—	—	国際会計修士(専門職) ファイナンス修士(専門職)	—	平成14年度		平成29年度より 学生募集停止
法務研究科						0.74		東京都新宿区市谷本村町42番8	
法務専攻 (専門職学位課程)	3	240	—	720	法務博士(専門職)	0.74	平成16年度		
戦略経営研究科						0.63		東京都文京区春日一丁目13番27号	
戦略経営専攻 (専門職学位課程)	2	80	—	160	経営修士(専門職)	0.70	平成20年度		
ビジネス科学専攻 (博士課程後期課程)	3	12	—	36	博士(経営管理) 博士(学術)	0.57	平成22年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<法学部 法律学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
47	13	0	3	63	49	9	0	3	61	49	11	0	3	63
(47)	(13)	(0)	(3)	(63)						[2]	[△2]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		依願退職、補充については今後の人事計画において対応予定。
2	教授		定年退職、補充については今後の人事計画において対応予定。
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した2名の教授が担当していた科目については、既存教員の中で後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。減少している教員数については、今後における人事計画に基づいて専任教員の任用等を適宜行うことにより、適切な教員組織を維持していく予定である。

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<法学部 政治学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
23	5	0	1	29	22	6	0	0	28	23	6	0	0	29
(23)	(5)	(0)	(1)	(29)						[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		定年退職、補充については今後の人事計画において対応予定。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した1名の教授が担当していた科目については、既存教員の中で後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。減少している教員数については、今後における人事計画に基づいて専任教員の任用等を適宜行うことにより、適切な教員組織を維持していく予定である。

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<法学部 国際関係法学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
13	2	0	0	15	14	1	0	0	15	14	1	0	0	15
(13)	(2)	(0)	(0)	(15)						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<経済学部 経済学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
22	12	0	3	37	22	13	0	2	37	22	13	0	2	37
(22)	(12)	(0)	(3)	(37)						[0]	[1]	[0]	[△1]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<商学部 経営学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	13	0	1	29	14	14	0	1	29	14	14	0	1	29
(15)	(13)	(0)	(1)	(29)						[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		定年退職、補充人事あり。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員が担当していた科目については、補充人事を行い後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<商学部 商業・貿易学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
20	5	0	0	25	20	4	0	1	25	20	4	0	1	25
(20)	(5)	(0)	(0)	(25)						[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	特准准教授		任期満了による退職、補充人事あり。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員が担当していた科目については、補充人事を行い後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 数学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
13	2	0	0	15	13	2	0	0	15	13	2	0	0	15
(13)	(2)	(0)	(0)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 物理学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	2	0	8	21	11	2	0	7	20	11	2	0	8	21
(11)	(2)	(0)	(8)	(21)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員については、授業補助教員としての位置づけとなっていたため、当該授業の担当に変更はなく、授業運営に支障はきたしていない。そのため、学生に対する周知に関しても特段の必要性は見当たらないが、学生に対して年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて授業担当者を十分に周知しており、履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 都市環境学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	1	1	3	16	11	1	1	3	16	11	1	1	3	16
(11)	(1)	(1)	(3)	(16)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 精密機械工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
12	5	0	4	21	12	4	0	4	20	12	5	0	4	21
(12)	(5)	(0)	(4)	(21)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		定年退職、補充については今後の人事計画において対応予定。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した1名の教授が担当していた科目については、既存教員の中で後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。減少している教員数については、今後における人事計画に基づいて専任教員の任用等を適宜行うことにより、適切な教員組織を維持していく予定である。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 電気電子情報通信工学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
12	2	0	3	17	12	3	0	4	19	12	3	0	3	18
(12)	(2)	(0)	(3)	(17)						[0]	[1]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 応用化学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
16	0	0	13	29	15	0	0	10	25	16	0	0	10	26
(16)	(0)	(0)	(13)	(29)						[0]	[0]	[0]	[△3]	[△3]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		定年退職、補充については今後の人事計画において対応予定。
2	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
3	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
4	助教		任期満了による退職、補充人事なし。

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教授1名については、保健体育担当の教員であり、担当授業の後任も既存教員の中で決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。また、退職した助教3名については、いずれも授業補助教員としての位置づけとなっていたため、当該授業の主担当に変更はなく、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十分に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。減少している教員については、今後における人事計画に基づいて専任教員の任用等を適宜行うことにより、適切な教員組織を維持していく予定である（助教については、従来より余剰人数も多くなっていることから、その補充については十分に検討したうえで決定していく）。

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 経営システム工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
12	0	0	5	17	12	1	0	4	17	12	1	0	4	17
(12)	(0)	(0)	(5)	(17)						[0]	[1]	[0]	[△1]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員については、授業補助教員としての位置づけとなっていたため、当該授業の主担当に変更はなく、授業運営に支障はきたしていない。そのため、学生に対する周知に関しても特段の必要性は見当たらないが、学生に対して年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて授業担当者を十分に周知しており、履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 情報工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	2	0	4	16	10	2	0	4	16	10	2	0	4	16
(10)	(2)	(0)	(4)	(16)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 生命科学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	2	0	7	18	9	2	0	5	16	9	2	0	5	16
(9)	(2)	(0)	(7)	(18)						[0]	[0]	[0]	[Δ2]	[Δ2]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
2	助教		任期満了による退職、補充人事なし。
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員については、いずれも授業補助教員としての位置づけとなっていたため、当該授業の主担当に変更はなく、授業運営に支障はきたしていません。そのため、学生に対する周知に関しても特段の必要性は見当たらないが、学生に対して年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて授業担当者を十分に周知しており、履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<理工学部 人間総合理工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	2	0	6	18	10	2	0	6	18	10	2	0	6	18
(10)	(2)	(0)	(6)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<文学部 人文社会学科>

- (1) 専任教員数等
 (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
89	3	0	1	93	90	7	0	0	97	90	7	0	0	97
(89)	(3)	(0)	(1)	(93)						[1]	[4]	[0]	[0]	[4]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

- (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

- (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

- (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

4 教員組織の状況

<総合政策学部 国際政策文化学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
17	4	0	0	21	17	3	0	1	21	17	3	0	1	21
(17)	(4)	(0)	(0)	(21)						[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		定年退職、補充人事あり。
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員が担当していた科目については、補充人事を行い後任も決定しているため、授業運営に支障はきたしていない。なお、学生に対する周知に関しては、年度初めに配布する授業時間割やシラバスにおいて担当者を十全に周知しており、学生の履修選択上の問題も特に生じてはいない状況である。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (平成28年8月)</p>	<p>・法学部（通信教育課程）の定員未充足の是正に努めること。</p>	<p>本学法学部通信教育課程の学生募集については、より多くの学生の受け入れを企図して、入学説明会の開催や他大学との合同入学説明会への参加、本学公式Webサイト、同課程独自のWebサイト、公共交通機関や新聞への広告掲出等の手段で行い、多様なバックグラウンドを有する志願者が同課程の情報にアクセスしやすい環境の整備に努めている。また、教育環境においても、多摩キャンパスをベースとしつつ、短期スクーリングを千代田区御茶ノ水にある本学の駿河台記念館や大都市圏（大阪、名古屋、福岡、仙台等）で行うなど、学生のニーズに対応するよう工夫を行っている。しかしながら、2017年度における定員充足率は約30%と、未だ十分な学生を確保するには至っていない状況である。</p> <p>通信教育課程は最長で12年の在籍が可能であり、個々の学習環境によって長い学習スケジュールを立てて在籍する学生が多く見られることから、本学として通学課程と同様の定員管理を行うことはそぐわないものと思料するが、本学法学部通信教育課程の設置趣旨を踏まえつつ、今後も引き続き学生募集に注力していく。(29)</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

6 その他全般的事項

<文学部 人文社会学科>

(1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a)教育課程の変更内容</p> <p>文学部の教育課程は、限られたリソースを最大限有効に活用しつつ教育効果をさらに高め、時代の要請に応えるため、「きめ細やかな少人数教育」「専攻にとらわれない多彩な分野・科目の履修」等の特性を有する教育課程となっている。具体的には、専門教育における知的訓練と、広汎な分野から得られた幅広い教養の二本柱から成り立つ。専門教育においては、各専攻の教育目標に即して、専攻科目群が設定されている。基礎演習科目からはじまり、必修・選択科目、演習・ゼミナールを中心に少人数教育を軸として卒業論文・卒業研究等に至ることとなる。また、幅広い教養のために、総合教育科目群において、新入生への導入教育としての「大学生の基礎」科目、学際的諸問題を取り扱う特別教養科目、健康・スポーツ科目、外国語科目を設置し、これに加えて、自由選択科目群（学部間共通科目、自由選択科目）を設定するなど、学生各自の志向に即した自発的な学修を可能とするものとなっている。</p> <p>文学部では、収容定員の変更に伴って教育課程の変更は行わないが、教育目標を実現するために、従前の取り組みを真摯な姿勢で着実に推進するとともに、恒常的な改善サイクルを機能させることにより、その質の維持・向上に資するものとしていく。</p> <p>(設置の趣旨等を記載した書類 p. 23参照)</p>	<p>・変更内容</p> <p>文学部カリキュラムの変更</p> <p>・状況</p> <p>本変更は、総合教育科目群において、学修効果の向上を図るため、科目群を再編の上、設置科目を整理し、カリキュラムを再体系化したものであり、教育課程そのものの趣旨が変更されるといった類のものではない（具体的な変更内容については添付資料を参照のこと）。</p> <p>また、収容定員変更の計画提出時においては、既に文学部としての教育課程の整備計画の中には含まれていた事項であり（2017年度からのカリキュラムとして、既に適用されている）、左記において「収容定員の変更に伴って教育課程の変更は行わない」と記載しているのは、本変更が前提であることにご留意いただきたい。</p> <p>ただし、学内手続きスケジュールの関係もあり、収容定員変更時の計画提出後において（11月）文部科学省への学則変更届を提出することとなったことから、定員変更時の計画からの変更事項として記載している。また、当該学則変更届では、学芸員資格課程及び社会教育主事資格課程の変更についても併せて届出がなされているが、本件の変更とは趣旨が異なることから、本項目における記載は割愛している。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）